



埼玉西部消防局 山岳救助隊 NEWS



秋号

平成26年
10月1日発行

秋の登山シーズン到来！！

余裕を持った計画で楽しい登山にしましょう！！

日の入り時間は要チェック！！

これからの季節は、日の暮れる時間が日に日に早くなっていきます。過去の遭難事故でも、日の入り時刻までに下山できず、暗い登山道で行動不能に陥ったり、道に迷い滑落事故を起こしてしまうなど、生死にかかわる事故につながる事がありました。

登山の所要時間を計算し、日の入り時刻よりも早く下山できるように、出発時間を早めるなど余裕を持った計画を立てましょう。また、登山行程の中で緊急時や行程に遅れが生じた時などのために、エスケーブルート（避難ルート）を決めておく事や、ヘッドライト等の照明器具を必ず携行することを勧めます。

埼玉県 10月～12月 日の入り時間一覧表					
2014/10/01	17:26	2014/11/01	16:47	2014/12/01	16:28
2014/10/05	17:20	2014/11/05	16:43	2014/12/05	16:27
2014/10/10	17:13	2014/11/10	16:38	2014/12/10	16:28
2014/10/15	17:07	2014/11/15	16:35	2014/12/15	16:29
2014/10/20	17:00	2014/11/20	16:32	2014/12/20	16:31
2014/10/25	16:54	2014/11/25	16:29	2014/12/25	16:33
2014/10/30	16:49	2014/11/30	16:28	2014/12/30	16:37

※上記時間は目安です、余裕を持った計画を立てましょう。

野生動物や虫にも要注意！！



飯能日高地域の山間部では11月位まで、熊やイノシシなどの目撃情報が寄せられています。特に熊は、越冬前に食糧の木の実などを求めて、活動範囲が広くなり、最近では人里にも出没しているようです。また、山中では、コナラや山栗など木の実が落ちる樹林帯を歩く際は、十分注意しましょう。

熊に遭遇しない為には、人の存在を早い段階で熊に知らせる事が有効で、山中では普通、熊が先に人に気がつき、人を避けるよう行動すると言われています。そのため熊生息地域に入る時は、先に熊に気づいてもらえるように、熊除け用の鈴やラジオなどを携行しましょう。

また、10月下旬頃まではスズメ蜂などにも注意が必要です。一般的にスズメ蜂は、黒い色に攻撃を行うと言われていますが、1匹のスズメ蜂に刺されてしまうと、刺したスズメ蜂のフェロモンを目がけて他のスズメ蜂が攻撃するそうです。また、スズメ蜂は香水などの強いにおいにも反応し攻撃するとも言われています。山に入る際には、明るい色の服装を選び、香水などの匂いの強いものをつけるのは避けましょう。



スズメ蜂に刺されてしまった時には、できるだけ毒が体内に入らないように、傷口から毒を排除するため、傷口を周囲から圧迫して、毒を搾り出すようにしながら水で洗い流してください。水で洗うことで冷却することになりますので、痛みを和らげる効果もあります。

夜は思った以上に冷え込みます！！

秋は登山をするのに最適な季節です。日の差している時間帯は少し汗ばむ程の気温ですが、夜になると山の中はとても冷え込みます。

救助要請があってから、我々救助隊員が到着するまで、山の中では数時間かかってしまいます。場合によっては翌朝になってしまうかもしれません。昼間の登山計画でも、万が一遭難してしまい山の中で一夜をしのげる季節に合った防寒着を携行しましょう。また、アルミ製の防寒保温シート（サバイバルシート）などを携行しておくのもよいでしょう。



増加し続ける山岳遭難事故を振り返る

近年の登山ブームにより、当消防局管轄の山にも多くの登山者が訪れています。登山者の増加に比例して山岳遭難事故が急増しています。山岳遭難事故は、当消防局管轄に限った事ではなく、埼玉県内さらに全国的に年々増加傾向にあります。当消防局管轄で発生した山岳遭難事故の遭難者年齢層を見ても、10歳代から80歳代まで幅広い年齢層になっています。山岳遭難救助活動を行う中で、山岳遭難の原因について考えてみたいと思います。

山岳遭難事故の主な原因

★ 転倒しての負傷

転倒事故の多くは、午後の時間帯で下山中に発生しています。浮石や木の根に注意する事はもとより、下山中の転倒は、登山者の体力（登山レベル）にあっていない事が原因の一つと考えられます。下り坂は足にかかる負担は非常に大きく、一般的に下山中に足がガクガクする場合は、登山者の体力（登山レベル）にあっていないと考えられます。「普段、家の周りを散歩してトレーニングいるから大丈夫！」と思うのは危険です。しっかりトレーニングをして自分の体力に見合った山へ出かけましょう。

★ 道迷いによる遭難

道迷いによる遭難事故は特に増えています。登山道は行くたびに様子を変えます。台風や大雪の影響で、倒木、土砂崩れなどで、登山道が不明確になっている場所が多くあります。街中の道とは違い登山道は明確ではありません。登山を行う前に登山地図の読み方とコンパス（方位磁針）の使い方をマスターし、登山地図を確認しながら登山しましょう。

★ 日の入りによる行動不能

我々が救助活動を終え、日の入り直前に下山をしている際に、登山者と出会う事があります。話を聞くとその多くの人が「思ったより登るのに時間がかかってしまった」と言っています。入山時間を聞くと明らかに出発時間が遅い場合が殆どです。特に山の北斜面は暗くなるのが早いです。暗い登山道を歩くことで、道迷いや滑落事故を誘発する可能性があります。登山は計画段階から始まっています。市販の地図などを参考にして、所要時間などを確認し、余裕を持った登山計画を立てましょう。



登山届けを提出しましょう！！

いざという時に、役に立つのが「登山届け」です。消防・警察の山岳救助隊は、提出された登山届けの情報をもとに、捜索活動を行います。登山届けは、登山口に設置してあるポストや、埼玉県警察のホームページからも提出できます。また、家族や身近な人に渡しておくだけでも大きな情報源となります。

